

しま高ホームページ
<http://www.shimanet.ed.jp/nima/>

しま高 Eメール
nima-01@shimanet.ed.jp



発行所
島根県立邇摩高等学校
松風会

〒699-2301
島根県大田市仁摩町仁万907
TEL 0854-88-2220
FAX 0854-88-4417

さて、本校が平成七年度に総合学科に生まれ変わって十五年になります。現在全校で九クラス、三二〇名の生徒が学んでおり、その中の九十九名の生徒が今春、卒業生として本校を巣立つてていきます。厳しい経済状況のため求人數は前年度より大きく減少しましたが、本校においては、就職希望者三十六名全員の内定が決まっています。進学希望者につきましても、指定校推薦入試、一

次に生徒の活動状況について、あらましをご紹介いたします。

昨年五月二十三日、本校生徒会が社団法人日本善行会から「善行表彰」されました。受賞理由は「平成八年以來、海水浴場及び町内の清掃活動、独居高齢者及び高齢者施設への手紙送付、共同作業所活動に協力してアルミ缶の回収、市内福祉施設等各種行事へのボランティア活動などに取り組んでいる。」ということです。

業・学校との繋がりと、一人ひとりの生徒の努力、そして教職員のきめ細やかな指導のたまものと考えています。

邇摩高校の近況報告

校長 梅瀨龍二



松風会会員の皆

先日の夜、中学
校の〇先生が奥さんと一緒に我が家に来られ、酒を飲みながら昔のP.T.A.のことや、今の教育現場のことなどの話をしました。彼は、二十六年前に荒れた地元の中学校に赴任された教師です。当時、私は三人の子供が中学校でお世話になつていて、私は六年間、P.T.A.の会長を務めました。大学卒業まもない若い体育教師や数学教師など、個性の強い先生や生徒指導が苦手な先生もおられたりして、それが渾然一体の状態がありました。

O先生は次第に力をつけられて彼らをまとめ私達の子供もわだかまりが薄くなつて懷いていきました。元来、仁摩は相撲や柔道といった格闘技が昔から盛んで、部活動はこれらを中心にして活発になつていきました。三重県伊勢市で行われた相撲の全国大会、野球やテニスの県大会出場等々、子供の目の輝きも次第に増して、またそれに釣られるようにして親が学校に興味を持ち始めました。夜遅くまで練習を重ねたPTAバレーの県大会出場も出来て親と子供と地域が緊密になつていきました。私の長女も一年生から三年生まで全国中学水泳大会に出場できたこと

も私の気持ちをハイに支えてくれます。た。
「御縁」というものは不思議なもので
す。あの中学時代、小さくてなんとな
く弱々しく、だけど「やんちゃ」であつ
た子供達が、最近私が地域の商工会の
お世話をするようになつて、ふと青年部
に目を向けた時、彼らがそこで活躍
していたのです。「なして、こんな子や
ちは、こがな悪るさをするかいのオ。」
と頭をかかえた事もありましたが、目
の前の青年達はキビキビとして、たく
ましく育っていました。私は感激をして
いました。

昨年の夏に行われた「仁摩ごいせ祭
り」では、最後の挨拶で実行委員長をし
ている彼らに言いました。「私はP.T.A.
あなた方のお世話をさせて頂きまし
たが、今はあなた方から教えてもらう

立場になりました。これからも皆さんと一緒になって地域のリーダーを育て活性性しましょう」と。
まさに「一度目の『邂逅』です。
PTAの取り持つ縁で頼まれ仲人として三組のカップルを誕生させられたこともあります。そして、○先生がこうして今も、交流を続けて下さっていることが有り難いと思います。これは、私達の掛楚えのない財産であります。熱気と情熱でむせ返っていた頃の親子の集まりを、兄弟のような気持ちで教え諭してもらつた、かつての若くて個性的で熱かつた先生方に、限りない敬意と感謝の気持ちを伝えたいと思っています。

でした。(黙々と積み重ねた活動が高く評価され、とてもうれしく思います。) した。これを励みに一層ボランティア活動、福祉活動を活発にしていきたいと考えています。

部活動では、弓道部男子が、十二月上旬に行われた県選手権大会においてみごと団体優勝を成し遂げました。団体での優勝は平成八年新人太会以来のことであり、これにより三月二〇日から「大阪なみはやドーム」で行われる全国高等学校弓道選抜大会へ出場いたします。関西在住の皆様には応援をよろしくお願ひいたします。

た。春から夏への大会に向けて、引き続き躍進が期待されるところであります。

また教科クラブの活動として、農業クラブ全国大会茨城大会の農業鑑定競技会に、代表として二名が出場し、難問に挑戦しました。

校内の松風会員は、昭和四十六年卒の大島淳教頭、昭和五十二年卒の事務室の小島昭典さん、昭和五十四年卒の奥野和浩先生、そして昭和六十二年卒の森脇一正先生と僅か四年の間で、名ですが、それぞれに夜遅くまで後輩の指導、お世話にと励んでいます。

●進路指導主事 教諭 多々納 雄二

「『仕事の報酬』とは何か」と問われたとき、人はどう答えるでしょうか。おそらく「給料や年収」と答える人が多いでしょう。また、「役職や地位」と答える人も少なくないかもしれません。たしかに、年収や地位は「目に見える報酬」です。

そして、目の前に確かな報酬があるからこそ仕事をがんばれるという人の気持ちも十分わかります。しかし、もしそれだけのために働くなら少し寂しい気がします。なぜなら、仕事には、決して見失ってはならない「目に見えない三つの報酬」があるからです。

その第一は、「働きがい」です。ただし、働きがいのある仕事とは「おいしい」「楽しい」仕事ではありません。ましてや「かっこいい」仕事では決してありません。「はたらく」とは、すなわち「傍(はた)」を「楽(らく)」にすること。日本人は昔から、自分のささやかな働きが誰かの役に立てる喜びとしてきました。だから、引退した人でも、また十分に蓄えがあつても、まだ働きたいと思う人は多いのです。しかし、欧米では必ずしもそうではありません。そもそも、労働(labor)という言葉には「苦役」という意味があり、だから「安息日」が設定されているのです。そう考えると、日本の「働く」という言葉はすばらしい言葉だと思えます。多くの方々が経験されてきたと思いますが、新入社員のころ、上司や先輩から頼まれた仕事を一生懸命にこなし、「ありがとう、助かったよ」と言われたときの嬉しさ。その「傍」を「楽」にする喜びから、私達の仕事人生が始まつたはずです。そして、顧客に喜ばれ、その笑顔を見るとき、「働きがい」が仕事で最も大きな力を發揮するのは、

仕事に働きがいを感じているときではないでしょうか。

生き残れないからと、徹夜で仕事をするのは辛いものです。しか

し、この仕事が世の中を幸せにすると思

う。

目に見えない報酬の第二は、「職業人としての能力」です。仕事に働きがいを

感じているとき、「寝食を忘れ」「無我夢中」で働きます。そのときは大変で

すが、振り返ってみると、そうした時期

にこそ、人は腕を磨いているのでしょうか。

そして、ある時、尊敬する上司や師匠か

ら「お前も腕を上げたな」と言われる。

これこそ最高の喜びの瞬間と言えるので

はないでしょうか。

そして報酬の第三は、「人間としての成長」です。私は、これこそが最も大切な仕事の報酬だと思っています。仕事を

していると、様々なことが起こります。

上司や同僚とぶつかることもあります。

言うことを探してくることもあります。

自分勝手な顧客に会うこともあります。

が大半を占めます。「もっと遊びたかった」と言う者さえいます。彼らが仕事で

得た報酬とはいつたい何だったのでしょうか。

が半分を占めます。「もっと遊びたかった」ということになります。並みいる強敵

を押しのけて開拓してくれた新道を、大

切にしていくたいと考えています。彼女

が目標とする企業がまたひとつ増えたことになります。

後輩たちが目標とできる企業がまたひとつ増えたことになります。

「力」とのこと。本校の今後にとっても実

用を六名に絞り込んだ。その中で採用と

とも簡単に放棄する者たちが少なからず

います。二年前の卒業生は一年足らずの

うちに十名離職し、昨年の卒業生は三ヶ

月以内に八名離職しています。これは知

りうる限りの人数であり、もしかすると

もっと多いかもしれません。離職した

者たちに話を聞くと、「上司とのトラブル」や「仕事のつらさ」を理由にする者

が大半を占めます。「もっと遊びたかっ

た」と言う者さえいます。彼らが仕事で

得た報酬とはいつたい何だったのでしょうか。

が半分を占めます。「もっと遊びたかっ

た」ということになります。並みいる強敵

を押しのけて開拓してくれた新道を、大

切にしていくたいと考えています。彼女

が目標とする企業がまたひとつ増えたことになります。

後輩たちが目標とできる企業がまたひとつ増えたことになります。

「力」とのこと。本校の今後にとっても実

用を六名に絞り込んだ。その中で採用と

とも簡単に放棄する者たちが少なからず

います。二年前の卒業生は一年足らずの

うちに十名離職し、昨年の卒業生は三ヶ

月以内に八名離職しています。これは知

りうる限りの人数であり、もしかすると

もっと多いかもしれません。離職した

者たちに話を聞くと、「上司とのトラブル」や「仕事のつらさ」を理由にする者

が大半を占めます。「もっと遊びたかっ

た」ということになります。並みいる強敵

を押しのけて開拓してくれた新道を、大

切にしていくたいと考えています。彼女

が目標とする企業がまたひとつ増えたことになります。

後輩たちが目標とできる企業がまたひとつ増えたことになります。

「力」とのこと。本校の今後にとっても実

用を六名に絞り込んだ。その中で採用と

とも簡単に放棄する者たちが少なからず

います。二年前の卒業生は一年足らずの

うちに十名離職し、昨年の卒業生は三ヶ

月以内に八名離職しています。これは知

りうる限りの人数であり、もしかすると

もっと多いかもしれません。離職した

者たちに話を聞くと、「上司とのトラブル」や「仕事のつらさ」を理由にする者

が大半を占めます。「もっと遊びたかっ

た」ということになります。並みいる強敵

を押しのけて開拓してくれた新道を、大

切にしていくたいと考えています。彼女

が目標とする企業がまたひとつ増えたことになります。

後輩たちが目標とできる企業がまたひとつ増えたことになります。

「力」とのこと。本校の今後にとっても実

用を六名に絞り込んだ。その中で採用と

とも簡単に放棄する者たちが少なからず

います。二年前の卒業生は一年足らずの

うちに十名離職し、昨年の卒業生は三ヶ

月以内に八名離職しています。これは知

りうる限りの人数であり、もしかすると

もっと多いかもしれません。離職した

者たちに話を聞くと、「上司とのトラブル」や「仕事のつらさ」を理由にする者

が大半を占めます。「もっと遊びたかっ

た」ということになります。並みいる強敵

を押しのけて開拓してくれた新道を、大

切にしていくたいと考えています。彼女

が目標とする企業がまたひとつ増えたことになります。

後輩たちが目標とできる企業がまたひとつ増えたことになります。

「力」とのこと。本校の今後にとっても実

用を六名に絞り込んだ。その中で採用と

とも簡単に放棄する者たちが少なからず

います。二年前の卒業生は一年足らずの

うちに十名離職し、昨年の卒業生は三ヶ

月以内に八名離職しています。これは知

りうる限りの人数であり、もしかすると

もっと多いかもしれません。離職した

者たちに話を聞くと、「上司とのトラブル」や「仕事のつらさ」を理由にする者

が大半を占めます。「もっと遊びたかっ

た」ということになります。並みいる強敵

を押しのけて開拓してくれた新道を、大

切にしていくたいと考えています。彼女

が目標とする企業がまたひとつ増えたことになります。

後輩たちが目標とできる企業がまたひとつ増えたことになります。

「力」とのこと。本校の今後にとっても実

用を六名に絞り込んだ。その中で採用と

とも簡単に放棄する者たちが少なからず

います。二年前の卒業生は一年足らずの

うちに十名離職し、昨年の卒業生は三ヶ

月以内に八名離職しています。これは知

りうる限りの人数であり、もしかすると

もっと多いかもしれません。離職した

者たちに話を聞くと、「上司とのトラブル」や「仕事のつらさ」を理由にする者

が大半を占めます。「もっと遊びたかっ

た」ということになります。並みいる強敵

を押しのけて開拓してくれた新道を、大

切にしていくたいと考えています。彼女

が目標とする企業がまたひとつ増えたことになります。

後輩たちが目標とできる企業がまたひとつ増えたことになります。

「力」とのこと。本校の今後にとっても実

用を六名に絞り込んだ。その中で採用と

とも簡単に放棄する者たちが少なからず

います。二年前の卒業生は一年足らずの

うちに十名離職し、昨年の卒業生は三ヶ

月以内に八名離職しています。これは知

りうる限りの人数であり、もしかすると

もっと多いかもしれません。離職した

者たちに話を聞くと、「上司とのトラブル」や「仕事のつらさ」を理由にする者

が大半を占めます。「もっと遊びたかっ

た」ということになります。並みいる強敵

を押しのけて開拓してくれた新道を、大

切にしていくたいと考えています。彼女

が目標とする企業がまたひとつ増えたことになります。

後輩たちが目標とできる企業がまたひとつ増えたことになります。

「力」とのこと。本校の今後にとっても実

用を六名に絞り込んだ。その中で採用と

とも簡単に放棄する者たちが少なからず

います。二年前の卒業生は一年足らずの

うちに十名離職し、昨年の卒業生は三ヶ

月以内に八名離職しています。これは知

りうる限りの人数であり、もしかすると

もっと多いかもしれません。離職した

者たちに話を聞くと、「上司とのトラブル」や「仕事のつらさ」を理由にする者

が大半を占めます。「もっと遊びたかっ

た」ということになります。並みいる強敵

を押しのけて開拓してくれた新道を、大

切にしていくたいと考えています。彼女

が目標とする企業がまたひとつ増えたことになります。

後輩たちが目標とできる企業がまたひとつ増えたことになります。

「力」とのこと。本校の今後にとっても実

用を六名に絞り込んだ。その中で採用と

とも簡単に放棄する者たちが少なからず

います。二年前の卒業生は一年足らずの

うちに十名離職し、昨年の卒業生は三ヶ

月以内に八名離職しています。これは知

りうる限りの人数であり、もしかすると

もっと多いかもしれません。離職した

者たちに話を聞くと、「上司とのトラブル」や「仕事のつらさ」を理由にする者

が大半を占めます。「もっと遊びたかっ

た」ということになります。並みいる強敵

を押しのけて開拓してくれた新道を、大

切にしていくたいと考えています。彼女

が目標とする企業がまたひとつ増えたことになります。

後輩たちが目標とできる企業がまたひとつ増えたことになります。

「力」とのこと。本校の今後にとっても実

用を六名に絞り込んだ。その中で採用と

とも簡単に放棄する者たちが少なからず

います。二年前の卒業生は一年足らずの

うちに十名離職し、昨年の卒業生は三ヶ

月以内に八名離職しています。これは知

りうる限りの人数であり、もしかすると

もっと多いかもしれません。離職した

者たちに話を聞くと、「上司とのトラブル」や「仕事のつらさ」を理由にする者

が大半を占めます。「もっと遊びたかっ

た」ということになります。並みいる強敵

を押しのけて開拓してくれた新道を、大

切にしていくたいと考えています。彼女

が目標とする企業がまたひとつ増えたことになります。

後輩たちが目標とできる企業がまたひとつ増えたことになります。

「力」とのこと。本校の今後にとっても実

用を六名に絞り込んだ。その中で採用と

とも簡単に放棄する者たちが少なからず

います。二年前の卒業生は一年足らずの

うちに十名離職し、昨年の卒業生は三ヶ

月以内に八名離職しています。これは知

りうる限りの人数であり、もしかすると

もっと多いかもしれません。離職した

者たちに話を聞くと、「上司とのトラブル」や「仕事のつらさ」を理由にする者

が大半を占めます。「もっと遊びたかっ

た」ということになります。並みいる強敵

を押しのけて開拓してくれた新道を、大

切にしていくたいと考えています。彼女

が目標とする企業がまたひとつ増えたことになります。

後輩たちが目標とできる企業がまたひとつ増えたことになります。

「力」とのこと。本校の今後にとっても実

用を六名に絞り込んだ。その中で採用と

とも簡単に放棄する者たちが少なからず

います。二年前の卒業生は一年足らずの

うちに十名離職し、昨年の卒業生は三ヶ

月以内に八名離職しています。これは知

りうる限りの人数であり、もしかすると

もっと多いかもしれません。離職した

者たちに話を聞くと、「上司とのトラブル」や「仕事のつらさ」を理由にする者

が大半を占めます。「もっと遊びたかっ

た」ということになります。並みいる強敵

を押しのけて開拓してくれた新道を、大

切にしていくたいと考えています。彼女

が目標とする企業がまたひとつ増えたことになります。

後輩たちが目標とできる企業がまたひとつ増えたことになります。

「力」とのこと。本校の今後にとっても実

用を六名に絞り込んだ。その中で採用と

とも簡単に放棄する者たちが少なからず

います。二年前の卒業生は一年足らずの

うちに十名離職し、昨年の卒業生は三ヶ

月以内に八名離職しています。これは知

りうる限りの人数であり、もしかすると

もっと多いかもしれません。離職した

者たちに話を聞くと、「上司とのトラブル」や「仕事のつらさ」を理由にする者



平成 21 年度から赤軍、青軍、紫軍の 3 分団に分かれての戦いとなつた。晴天に恵まれ大勢の保護者が熱い声援をおくりました。

体育祭



119名が新しく通摩高生となり高校生活をスタートさせました。

入学式



山林実習

2 年生環境系列の生徒が毎年久利町戸倉の実習林で間伐をしています。

ケーキコンテスト



会場

通摩高校ではお馴染みの行事ですが、毎年最優秀賞を狙って「見た目と味」で勝負します。会場も華やかに彩られました。



ロードレース大会

全員完走を目指して男子 10km、女子 7km を走り続けました。



総体壮行式

弓道・柔道・卓球・バレー・バスケット・ソフトテニス・バドミントンの各競技に出場しました。

お弁当の日



いつもお母さんに作ってもらっているお弁当。たまには自分で作るのもいいかなあ。



農産物販売

新型インフルエンザで文化祭が中止。このコーナーだけは日を改め開催しました。



仁摩の浜清掃

通摩高生全員で毎年行います。継続してのボランティア活動として、今年「善行表彰」されました。



生徒総会

萱堂由美子生徒会長による前期まとめ、後期は新会長として長尾拓実君が当選しました。

体験入学（中学生対象）



環境系列農業コース、環境系列土木コース、ビジネス系列、福祉系列、生活系列別に開講されました。未来の通摩高生の誕生に向か、現役通摩高生も講師役として大活躍しました。

写真で見る通摩高生

支部だより

関東支部だより

現代遺産の創成を夢みて

●清水 勲(69)

○昭和34年普通科卒

○仁摩町出身 茨城県在住

○会社取締役(工学博士)

○光技術 学術論文 多数



レーザ光で粒子を捕まえて運ぶ技術の開発を約三十年前に日本で初めて成功させた時、夏目漱石「三四郎」の「東大で先輩が星の光で光圧力の研究をしていれる」この忘れていた一節が突然頭を過った。この光力の技術は、十数年後アメリカ・スタンフォード大学の教授が原子・分子の光封じ込め研究でノーベル賞を貢献した。私は重要な技術開発の度に、よくは分からぬが、文学とか美術に再会する。美観からすれば、悠久の時の流れにも耐え、しなやかで引締また美しい技術を創りたい、と苦闘しながら今日まで来たように思える。

私の美観は、長谷川等伯の「松林図屏

風」に描かれる風景にも似た山陰の気候

風土や、遼遠高での、「蕪村」島田、

「源氏」柳井、「漢文」福田の各先生の国語教育や、当時珍しいメロンの香りが温室から教室に漂い、学園祭には当時あまり市場では見ることも無かつた生ハム

が即売される遼高の文化、に培われたのかもしない。学術研究・開発は美観が命のように思える。今でも遼高の教育に感謝している。

さて、国立高専で教育研究に四十年間携わり、学生指導の問題、故郷に残したこと、親のこと、家族のこと、生業の憂いなど、を抱えながら心血を注いで開発した独創的先端技術を、誰も使ってくれなかつた。学会で発表し、大企業へも持ち込んで、役立つ技術として世に出す努力をしたが。仕方なく、自分で製品にして新技术を世に出すことにして、妻を社長にして会社をつくった。会社は当初、私の発明した、ボタンを押すと明るい部屋の木製机の上でも数分間で立体写真「ホログラム」が自動作成される技術、の特許維持・管理のためにあつた。ホログラム技術は1960年代のノーベル賞技術であるが、特殊な環境下でないとホログラムの製作は困難であつたものを、大衆技術にした歐米にもない独創技術であつた。定年後これまで取得した独創技術の特許を商品化して、世に出すこととした。取締役として、新技術の開発を今も進めて現役でいる。製品が次々とは売れないのが悩みではあるが。教育に携わっていたころに比べると今が生き生きしている。<http://www.rfat.co.jp/>

こんな事業を皆でやるのは如何ですか。遼高は幸いにもこのような事業を行うのに最適な技術を持つている。生徒は農業・林業の技術を生かし、インターネット技術で情報の収集と配信を担う。こんな事業を皆でやるのは如何ですか。遼高は幸いにもこのような事業を行うのに最適な技術を持つている。生徒は農業・林業の技術を生かし、インターネット技術で情報の収集と配信を担う。

人生の哀しさ、愛おしさを全て包んで生きかしてくられた、故郷の自然への感謝

おがわ)沿線に桜とムクゲとブルーベ



リーや桑で並木をつくりたい。山を櫛、楓や夏はぜ等の落葉樹で覆い、潮川に水量を満たして、昔のようにエビやウナギが獲れて、せいごの上つてくる川にしたい。海は海草が豊富で、小石の間にギンポ(なきりこ)が顔を覗かせ、カサゴがいたる所にいる豊かなものに再生したい。この潮川ルートは世界遺産の規制にかららず(大田市役所で確認済)、自由に自然再生計画が実行できる絶好の場所です。関東から北陸に向かう観光バスの運転手が一人で桜の木を植えて桜並木にした話を聞くつけ、我々の手で実行できなくはないと思う。桜は、八重系で、花と紅葉の秋も楽しめる。ムクゲは花期が長いから美しい花を厳選して、ブルーベリーは観光客のために、桑は桑モモと金色糸糸を紡ぐ素材つくりのため。山の夏はぜや楓は庭木に、苔を増やして、食も楽しむ。並木の一本ずつに植えた人の名前を付ける。カラサゴは刺身と骨は空揚げに、ボベを小石で叩いて波打ち際の小石の間に撒けばギンポが顔を出し、観光客も喜ぶ。

生かしてくられた、故郷の自然への感謝

おがわ)沿線に桜とムクゲとブルーベ

関西支部だより

各年度同窓会を実施し
その感動を
松風会総会に!!

●山崎 貢 (66)

(関西支部長)

○昭和 37 年普通科卒
○兵庫県神戸市在住

創立百周年の松風会会員名簿を基にして作成した関西支部の会員名簿が手許にあります。昭和 26 年から平成 12 年までの約二〇〇〇名を掲載したものです。中には居住不明者・物故者も含まれています。昭和 50 年までの 25 年間の会員数が一五二〇名で全体の 78%、昭和 51 年以降の 26 年間の会員数が四八〇名の 24% という比率です。平成以降については日本経済の構造変化等に伴い、毎年数人の卒業生しか関西に就職していない状況が続いている。一方、年会費二〇〇〇円の納入状況は、昭和 50 年までの会員が 24%、昭和 51 年以降の会員が 6% という状況です。この数字は松風会に対する関心度合を如実に物語っていると思います。十一年後には前記 76% の会員が 63 才以上 85 才までという超高齢化した関西支部となります。

客観的な状況は以上のとおりです。しかし、関西支部は居住確認一五〇〇名超の会員を抱える最大支部であることには間違いありません。年一度の総会では、先輩諸氏の伝統を受け継ぎ、特色あるイベントを取り入れた親睦会を企画しながら関西支部活動を継続しているのも事実です。そこで皆様に一つの提案、お願いをさせてください。各年度の同窓会を何人かで相談し企画・実施して欲しいのです。

天町 17 時 7 分発の電車の一乗客となりました。

（元）ゆるむ 友に涙腺（ゆいせん）めおくメモを胸に納むる

す。同窓会とは利害にとらわれず、素直に人と人が触れ合うことのできる場で高校時代の想い出の話だけにとどまらず、現在どうしているのか、どのように生きているのか、また、これからのことなどを語り合う場として企画して欲しいのです。そして、その感動を松風会総会・親睦会にぜひ持ち込んで欲しいのです。

一昨年、昨年の総会の終了後、参加された会員が感想を文章で寄せてくださいました。ここに紹介します。きっと松風会の活動を活性化していくエネルギーを頂けると思います。

（前略）総会参加者が次回参加のとき一人の会員を勧誘してくるという約束は果たすことができませんでしたが、今年もどんな出会いが新しくあるかを楽しみにして出席させていただきました。フルート演奏の企画は本当に素晴らしいと私も思いました。あの演奏中の水を打った静けさ、全員がその輪の中に吸い込まれていきました。そこには一体感が強くありました。有難うございました。次回も参加します。（後略）

S 32 普通科卒業会員
（前略）「参加して良かった!!」が私の感想であり思ひでもあります。約二時間半の「故郷の先輩のみなさんに会える」という思いと懐かしさを感じながらの参加でした。酔いがまわるにつれ、ついいつ慣れなれしく失礼な言動もあつたかと思いますが、悪しからずお許しください。時間があればもっとともみなさんと話をし、限られた時間だけでも心の中を故郷色に染めながら過ごすことができましたのに…そんなことを思いつつ弁

三十才のとき転職を考え、他の会社の試験も受かり随分迷い悩んだとき、三十七才頃大病（ガンになる）を煩い七年間再発等でモタモタしていたとき、五十三才で社内リストラに会い、部長職からヒラ社員に降格、給料も三百万円減収（年収）、厳しい中を生き抜いてきました。最後は強く慰留されましたが定年満退職ということになりました。

天町 17 時 7 分発の電車の一乗客となりました。

（元）ゆるむ 友に涙腺（ゆいせん）めおくメモを胸に納むる

す。一人でも多くの皆様の出席を期待しています。

私たち支部役員はこのような思想・意見に元気づけられ、今年度も総会・懇親会の準備に取り組んでいます。今年度の関西支部総会は 6 月 6 日（日）に、大閣宴（JR・京阪京橋駅）を予定しています。一人でも多くの皆様の出席を期待しています。

私たち支部役員はこのような思想・意見に元気づけられ、今年度も総会・懇親会の準備に取り組んでいます。今年度の関西支部総会は 6 月 6 日（日）に、大閣宴（JR・京阪京橋駅）を予定しています。一人でも多くの皆様の出席を期待しています。

関西支部だより

第一の人生へ挑戦

●山畑 康雄 (63)

○昭和 40 年普通科卒
○大阪府交野市在住

○不動産会社顧問



今年度の関西支部役員を紹介しておきます。意見・アイデアなどいただければ有り難いです。



三十才のとき転職を考え、他の会社の試験も受かり随分迷い悩んだとき、三十七才頃大病（ガンになる）を煩い七年間再発等でモタモタしていたとき、五十三才で社内リストラに会い、部長職からヒラ社員に降格、給料も三百万円減収（年収）、厳しい中を生き抜いてきました。最後は強く慰留されましたが定年満退職ということになりました。

叶うならば第三の人生についても記述できることを念じながら…。

十一月に個人住宅を契約できましたが、ゼネコンに紹介した物件は三本とも甘くいきませんでした。

大変な時代で後がありません、と云つて前を向いても闇ですが、吉川英治氏の「闇が深ければ深いほど朝が近い」との議言を確信し進むしかありません。年齢、体力、精神力、知識等々難かしい面はたくさんありますが、自分に敵しく頑張ろうと思います。

今までの社会性、経験、人脈、思考教育など使える財産（あまり多くはないですが）を出し尽くし、人生ポジティブに生きたいと思います。

私は以前から第三の人生まで考えています。念うところが有つて八十四才まで生きたいと思います。

世代の違う私は、せめて父親は越えなくてはと力が入っていたのかも分かりません。

はと力が入っていたのかも現役時代に三回程度大きくな波がきました。

ともあれ同窓の皆さまが一人も漏れなく、ご健勝、ご長寿で、楽しく、素晴らしい一生を送られんことを願うばかりです。

叶うならば第三の人生についても記述できることを念じながら…。



